

CDA STUDENT 資格認定手続き

日本キャリア開発協会（JCDA）
2025 年 2 月 18 日現在

CDA STUDENT 資格とは、日本キャリア開発協会（JCDA）が大学生・短期大学生に向けて展開する資格です。

①誰もが「ありたい自分」を持つという肯定的な人間観をベースに、「その人らしい生き方・働き方」を自らのキャリアを通して実現できる素養を有していること、②前例が通用しない予測不可能な時代において、自分自身のキャリアを自ら責任をもって切り開く自律的キャリアの基礎を学んでいること、を証明します。

資格認定に必要な学習内容は、キャリア形成に関する知識やインターンシップ等の実践、キャリアに関わる心理学のほか、自己理解や他者支援の入門など多岐にわたります。そのため、各大学の特性に合わせたプログラム編成が可能です。

1. 登録大学認定手続き（新規）

大学生が CDA STUDENT 資格を取得するためには、所属する大学・短期大学が JCDA の認定を受け、登録大学になる必要があります。認定手続きは以下の通りです。

対象	全国の大学及び短期大学
提出書類	① CDA STUDENT 資格 指定科目認定申請書・新規【様式 1】 ②指定科目すべてのシラバスの写し
	※一般法人会員でない場合は、以下の書類も必要です。 ③法人会員入会手続き書類【様式 2】 ④大学の沿革・業務内容・業績等が分かる資料、定款の提出。 該当内容が記載されているホームページの URL（指定様式なし）
提出期限	毎年 2 月末日
登録大学認定証 発行	提出から 2 週間程度（郵送）
学生申請書類の 発行	登録大学認定証発行から 1 か月程度で、以下の書類をメール送信 ①学生申請書類発行（申請時の URL を含む。） ②指定科目一覧 ※CDA STUDENT 資格 HP 大学ページにも掲載

費用① 資格認定料	30,000 円 ※科目認定時のみ必要。 ※科目変更がない限り、2 年目以降は不要。 ※2026 年 3 月申請分までは特別割引期間として資格認定料不要。 ※書類提出後、請求書に基づきご入金。
費用② 法人会費	①入会金 30,000 円（初年度のみ） ②年会費 20,000 円（初年度を含む毎年） ※ ①②共に請求書に基づきお支払い。 ※ 毎年ご入会月を請求月とし、請求月前々月中旬に請求書発送。 請求月前月の末日が振込期限。 例：4 月が請求月の場合、2 月中旬請求書発送、3 月末振込期限 ※ 初年度はご相談に応じます。

2. 指定科目認定手続き（変更）

CDA STUDENT 資格の登録大学・短期大学が、登録した科目等を変更する際の手続きは以下の通りです。なお、変更がない年の更新手続きは不要です。

対象	CDA STUDENT 資格登録大学及び短期大学
変更に関わる手続きの種類 ※ 記載されている以外の事案はお問い合わせください。	<変更に関する認定手続きが必要な場合> ※変更認定料：要 (A) 指定科目が閉講となり、新たに別の科目の認定を受けるとき (B) 指定科目の内容に、以下の変更が生じたとき a. 授業の目的ならびに内容が変更したとき b. 人生すごろく「金の糸」の使用または経験代謝の概念紹介を含む科目が変更になったとき
	<書面報告が必要な場合> ※変更認定料：不要 (C) 指定科目の内容に変更はないが、科目名称が変更したとき (D) 指定科目担当者（CDA 有資格者）が変更になったとき (E) 指定科目が閉講となったが、科目分野ごとの単位数並びに総単位数は充足しており、科目追加がないとき (F) 指定科目の開講時期が変更したとき
	<手続きや報告が不要な場合> ※変更認定料：不要 (G) 指定科目内容は同じだが、各回の内容や順序が変更したとき (H) 指定科目担当者（CDA 有資格者以外）が変更になったとき
提出書類	① CDA STUDENT 資格 指定科目認定申請書・変更【様式 3】 ②該当科目のシラバスの写し

提出期限	毎年 2 月末日
変更の認定	提出から 2 週間程度でメールにて認定の可否を通知
費用 資格変更認定料	20,000 円 ※書類提出後、請求書に基づきご入金。

3. 資格申請について

CDA STUDENT 資格を取得しようとする学生が申請する手続きは以下の通りです。

対象	CDA STUDENT 資格登録大学・短期大学に属する学生 (大学生・短期大学生)	
申請者	CDA STUDENT 資格発行を希望する本人 (大学生・短期大学生)	
資格付与の要件	大学の指定科目の中から、以下の要件を満たして 10 単位以上を修得した学生が、JCDA に申請することにより取得できる。 ※ 卒業の可否は不問。	
	<正課科目>	
	科目分野	認定要件
	キャリア・デザイン	2 単位必修 6 単位まで
	キャリアに関する心理学	4 単位まで
	対人支援に関する心理学	2 単位まで
	社会及び職業世界の理解	2 単位まで
	隣接領域	2 単位まで
	<正課外>	
	科目分野	認定要件
申請手続き	就職ガイダンス	2 単位相当まで
	JCDA 主催公開講座	4 単位相当まで
	申請手続きは以下の通り。 ・ 申請書類の提出 (オンライン) ・ 資格審査料の支払い	

申請書類内容	申請書類はオンラインにて提出する。記載する内容は以下の通り。 <基本情報> ①大学名、②氏名（漢字・カタカナ）、③郵便番号、④住所、 ⑤電話番号、⑥e-mail、⑦生年月日、⑧学部名 <指定科目修得単位に関する情報> ⑨単位修得した指定科目名 <添付資料> ⑩成績証明書または単位修得証明書 ⑪（正課外の科目がある場合）要件充足証明書 ※1 大学発行の証明書を PDF にして送付する。 ※2 写真撮影も可。科目名等が明確にわかるようにすること。
申請期間	申請期間は年 2 回とする。申請期間内に、「申請手続き」に記載した 2 点の手続きが完了していることを要する。 春学期申請：毎年 9 月 1 日～10 月 15 日 秋学期申請：毎年 3 月 1 日～4 月 15 日
認定期間	認定期間は年 2 回とする。 春学期認定：毎年 10 月 16 日～11 月 15 日 秋学期認定：毎年 4 月 16 日～5 月 15 日
認定方法	オープンバッジ（デジタル証明書）を、登録された個人メールアドレスに送付する。 （オープンバッジとは：https://www.openbadge.or.jp/）
資格審査料	4,500 円
資格審査料の入金方法	申請者が各自以下の振込先に入金する。 振込先銀行名 三菱 UFJ 銀行（0005）上野中央支店（065） 口座番号 普通預金 1 6 1 4 0 9 4 口座名 トクヒ）ニッポンキャリアカイハツキョウカイ 特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会

4. 指定科目について

CDA STUDENT 資格の登録大学認定に必要な指定科目を定める際の要件は以下の通りです。

全体要件	1. 指定科目を 10 単位（相当） 分以上指定する。 （1） CDA STUDENT 資格対象学生が履修登録可能であること。 （2） 以下に定める科目概要を満たすこと。 2. 指定科目のうち 1 科目以上で、①人生すごろく「金の糸」の使用、または、②経験代謝の概念紹介のいずれかが盛り込まれていること。本科目は必修科目であることが望ましい。 3. 指定科目のうち 1 科目以上で、担当教員またはスチューデントアシスタントを CDA 有資格者（もしくは CDA 有資格者相当の者）とすること。																		
科目概要	<正課科目> <table><tr><th>科目分野</th><th>科目例・補足</th><th>認定要件</th></tr><tr><td>キャリア・デザイン</td><td>キャリア・デザイン キャリアプランニング 職業選択演習 等</td><td>2 単位必修 6 単位まで</td></tr><tr><td>キャリアに関する心理学</td><td>キャリア心理学 参議用心理学 職業心理学 学校教育心理学</td><td>4 単位まで</td></tr><tr><td>対人支援に関する心理学</td><td>キャリアカウンセリング カウンセリング心理学 職業指導</td><td>2 単位まで</td></tr><tr><td>社会及び職業世界の理解</td><td>キャリア形成と社会 労働社会学 人的資源管理論 組織行動論 インターンシップ</td><td>2 単位まで</td></tr><tr><td>隣接領域</td><td>自律的なキャリアの基礎理解 につながると各大学が判断した科目</td><td>2 単位まで</td></tr></table> ※ すべての科目分野に科目を置く必要はありません。 <正課外> 正課科目だけで充足しない場合や正課外で学生の受講を促したいプ	科目分野	科目例・補足	認定要件	キャリア・デザイン	キャリア・デザイン キャリアプランニング 職業選択演習 等	2 単位必修 6 単位まで	キャリアに関する心理学	キャリア心理学 参議用心理学 職業心理学 学校教育心理学	4 単位まで	対人支援に関する心理学	キャリアカウンセリング カウンセリング心理学 職業指導	2 単位まで	社会及び職業世界の理解	キャリア形成と社会 労働社会学 人的資源管理論 組織行動論 インターンシップ	2 単位まで	隣接領域	自律的なキャリアの基礎理解 につながると各大学が判断した科目	2 単位まで
科目分野	科目例・補足	認定要件																	
キャリア・デザイン	キャリア・デザイン キャリアプランニング 職業選択演習 等	2 単位必修 6 単位まで																	
キャリアに関する心理学	キャリア心理学 参議用心理学 職業心理学 学校教育心理学	4 単位まで																	
対人支援に関する心理学	キャリアカウンセリング カウンセリング心理学 職業指導	2 単位まで																	
社会及び職業世界の理解	キャリア形成と社会 労働社会学 人的資源管理論 組織行動論 インターンシップ	2 単位まで																	
隣接領域	自律的なキャリアの基礎理解 につながると各大学が判断した科目	2 単位まで																	

	プログラムがある場合などに指定可能。									
	<table><tr><th>科目分野</th><th>科目例・補足</th><th>認定要件</th></tr><tr><td>就職ガイダンス</td><td>1350 分以上で 2 単位相当</td><td>2 単位相当 まで</td></tr><tr><td>JCDA 主催公開講座</td><td></td><td>4 単位相当 まで</td></tr></table>	科目分野	科目例・補足	認定要件	就職ガイダンス	1350 分以上で 2 単位相当	2 単位相当 まで	JCDA 主催公開講座		4 単位相当 まで
科目分野	科目例・補足	認定要件								
就職ガイダンス	1350 分以上で 2 単位相当	2 単位相当 まで								
JCDA 主催公開講座		4 単位相当 まで								
<概要> キャリア・デザイン	自身のキャリアを自らデザインする力を養成する科目が該当する。 具体的には、以下の内容が含まれる科目が想定される。 ・ キャリア・デザインの前提となる自己理解や内的成長を促すもの ・ 自身のキャリア実現に必要な能力を、大学内外での学びを通して習得する視点を育成するもの ・ 自身のキャリアを社会との関係の中で考える機会を提供するもの									
<概要> キャリアに関する心理学	自律的なキャリア形成を支えるキャリアに関する理論、または会社などの集団の中で必要な理論に関する心理学が該当する。									
<概要> 対人支援に関する心理学	他者のキャリア形成を支援するための理論とスキル・技法を養成する科目が該当する。									
<概要> 社会及び職業世界の理解	キャリア形成に影響する社会及び職業世界に関する知識を学ぶ科目、または社会及び職業世界での何らかの実践を伴う科目が該当する。									
<概要> 隣接領域	その他、自律的なキャリア形成につながると各大学が判断した科目。									
<概要> 就職ガイダンス	[正課外] 自身のキャリアを自らデザインする力を養成することを目的として大学が主催する公的なガイダンス、プログラムが該当する。									
<概要> JCDA 公開講座	[正課外] 経験代謝の概念紹介を含むプログラム。									

5. 一般法人会員について

一般法人会員については以下の通りです。

一般法人会員 とは	当協会の活動に賛同する法人
会費	入会金 3 万円 年会費 2 万円
会員特典	・ 一般法人会員である団体に所属する CDA 会員全員の会費割引 ※割引適用前に、都度在籍確認を実施。 (各個人のマイページ勤務先情報を登録する必要あり) ※会員ごとに 2,000 円の割引。 ・ 年 4 回の会報誌の web 閲覧可能。 ・ CDA 会員（全国約 2 万人）向けのメール配信料が 2 割引 https://www.j-cda.jp/mail-service/

以上